

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)
JCRファーマ株式会社神戸サイエンスパーク製造サイト新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.4
Q1 室内環境							0.30			3.3
1 音環境						3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音						4.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		T2等級				5.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境						2.5	0.35	-	-	2.5
2.1 室温制御						3.3	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		冷暖同時システムの採用				4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境						3.7	0.25	-	-	3.7
3.1 昼光利用						3.4	0.30	-	-	
1 昼光率						3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		吹き抜け部分にトップライト設置				4.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		事務室、会議室500lx以上				4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		事務室で昼光利用制御採用				5.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境						3.8	0.25	-	-	3.8
4.1 発生源対策						4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		内装材 全て☆☆☆☆				4.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気						3.3	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		吹き抜け部分にトップライト設置				4.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理						4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙				5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.6
1 機能性						3.3	0.40	-	-	3.3
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		事務室天井高2.7m 窓に面した執務室				4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース						3.0	0.33	-	-	
3 内装計画		吹き抜けのインテリアパースでデザイン検証をしている				4.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材の採用				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		保有水平耐力1.25倍				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクトはガルバリウム鋼板				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		通信手段多様化、災害時のTV視聴が可能、ネットワーク機器にUPS				4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				4.2	0.30	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高5m		5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	外壁周長386m/5313㎡=0.07<0.1		5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性				4.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	ISS空間より更新		5.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	ISS空間より更新		5.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	ISS空間より更新		5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	ISS空間より更新		5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	ISS空間より更新		5.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			敷地境界から30mのセットバックと白ベースでまとめたシンプルな	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制				-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			トップライトの設置	4.0	0.13	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.75	3.5	0.63	-	-	3.5
4 効率的運用				3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			内装床材	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			構造、建築、設備の分離	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.5	0.70	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3	冷媒			2.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2概算値88%	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	浸透樹、浸透管		4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	入場トラックの引き込みスペース確保		5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.8	0.33	-	-	3.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	1.00	-	-	
2	振動			-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				4.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			-	-	-	-	
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制	西側住居地域の基準 測定面H1.5 4時間5m、2.5時間10mを満たす		4.0	1.00	-	-	
3.3 光害の抑制				5.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす		5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	ルーバーによる反射光の低減をシミュレーションで検証		5.0	0.30	-	-	